

借用書
(貸主) ●●●●様

借入金 金壹拾萬円也

- 1.私、●●●●は貴殿より、金壹拾萬円を平成〇〇年〇〇年〇月×日に借り受けました。
- 2.上記、借受金を平成〇〇年〇〇年×年〇日に一括で返済します。
- 3.利息は年〇%とし、遅延利息は◇%とする。

平成〇〇年〇〇年〇月×日

(借主)
住所 〇〇県〇〇市●●1-2-3
名前 〇●●● 印

金銭消費貸借契約書

貸主●●●●(以下、甲)と借主〇〇〇〇(以下、乙)は、次の通り金銭消費貸借契約を締結した。

第1条: 甲は乙に対し、平成〇〇年〇月〇日に金壹百萬円万円を貸付け、乙はこれを受領した。

第2条: 乙は、甲に対し、前条の借入金壹百萬円万円を平成〇〇年〇〇月から平成〇〇年〇〇月まで毎月〇〇日限り金〇〇万円宛分割して、甲方に持参して支払う。

第3条: 利息は年〇〇パーセントとし、毎月〇〇日限り当月分を甲方に持参して支払う。

第4条: 期限後又は期限の利益を失ったときは、以後完済に至るまで、乙は甲に対し、残元金に対する年〇〇パーセントの割合による遅延損害金を支払う。

第5条: 乙について、次の事由の一つでも生じた場合には、甲からの通知催告がなくても乙は当然に期限の利益を失い、直ちに元利息を支払う。
①第2条の分割金又は第3条の利息を1回でも期限に支払わないとき。
②乙が甲に通知なくして住所を変更したとき。

第6条: 本契約に定めのない事項が生じたとき、又はこの契約条件の各条項の解釈につき疑義が生じたときは、甲乙誠意をもって協議の上解決するものとする。

以上、本契約成立の証として、本書を二通作成し、甲乙は署名押印のうえ、それぞれ1通を保管する。

平成〇〇年〇月〇日

貸主(甲)住所 〇〇県〇〇市〇〇〇〇
氏名 ●●●● 印
借主(乙)住所 〇〇県〇〇市〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇 印

債務承認弁済契約書

貸主●●●●(以下、甲)と借主〇〇〇〇(以下、乙)は、次のとおり債務承認弁済契約書を締結した。

第1条: 平成〇〇年〇月〇日締結の金銭消費貸借契約に基づき、乙は、甲に対し平成〇〇年〇月〇日現在において金壹百萬円の支払うべき残金があることを確認すると共に、次条以下の約定により弁済することを約し、乙はこれを承認した。

第2条: 乙は甲に対し、前条の債務の弁済として金壹百萬円を平成〇〇年〇月〇日限り、甲の住所に持参し、又は甲の指定する銀行口座に送金して支払うこと。

第3条: 甲と乙の間には、上記以外何らの債権、債務のないことを確認する。

上記の債務承認弁済契約書の成立を証するため、本契約書2通を作成し、甲乙署名捺印の上、各々1通を所持する。

平成〇〇年〇月〇日

貸主(甲)住所 〇〇県〇〇市〇〇〇〇
氏名 ●●●● 印
借主(乙)住所 〇〇県〇〇市〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇 印

金銭準消費貸借契約書

債権者●●●●(以下、甲)と債務者〇〇〇〇(以下、乙)は、乙の甲に対する〇〇〇〇の売掛金債務に関して、次の通り契約した。

第1条: 乙は甲に対し、平成〇〇年〇月〇日現在、〇〇〇〇取引に基づく未払売掛金債務金壹百萬円万円が存することを確認し、甲乙間においてこの売掛金債務を消費貸借の目的として平成〇〇年〇月〇日に金銭準消費貸借契約を締結した。

第2条: 乙は甲に対し、前条記載の債務を次の通り分割して甲に持参又は送金して支払う。
①平成〇〇年〇〇月から平成〇〇年〇〇月まで毎月〇〇日限り金〇〇〇〇円宛
②平成〇〇年〇〇月〇〇日限り金〇〇〇〇円宛

第3条: 利息は年〇〇%とし、毎月〇〇日限り当月分を支払う。

第4条: 期限後又は期限の利益を失ったときは、以後完済に至るまで、乙は甲に対し、残元金に対する年〇〇%の割合による遅延損害金を支払う。

第5条: 乙について次の事由の一つでも生じた場合には、甲からの通知催告がなくても、乙は当然に期限の利益を失い、直ちに残額すべてを支払う。
①債務の支払を1回でも怠ったとき。

第6条: 本契約に定めのない事項が生じたとき、又はこの契約条件の各条項の解釈につき疑義が生じたときは、甲乙は誠意をもって協議の上解決するものとする。

以上、本契約成立の証として、本書を二通作成し、甲乙は署名押印のうえ、それぞれ1通を保管する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

債権者(甲)住所 〇〇県〇〇市〇〇〇〇
氏名 ●●●●
債務者(乙)住所 〇〇県〇〇市〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇

